

二〇二五年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

文学研究科 日本文学専攻(博士前期課程)

科目: 日本語 (辞書使用: 不可)

[別紙の解答用紙を使用すること]

次の文章を読んで、後の問に答えよ。(なお、解答は別紙に記すこと)。

この問題は、著作権の関係で掲載できません。

(立川昭二『明治医事往来』新潮社、一四五～一四六頁、『転地悲傷』より)

注 『不如帰』―徳富蘆花作の小説。明治三十一年(一八九八)と三十二年(一九九九)、『国民新聞』に連載。

問一 傍線部A「武男と浪子が散歩するのは逗子の海岸である」事情を、本文に照らして説明せよ。

問二 空欄 B に入る語として、もつとも適切なものを、次の中から選んで、記号で答えよ。

- ① 設定 ② 舞台 ③ 表現 ④ 照明

問三 傍線部C「発見されたばかり」で、ことさら「発見」という述べかたをしているのはどういう理由か、説明せよ。

問四 傍線部D「国家建設に一息ついた」とはどういうことが、具体例を挙げながら、説明せよ。

問五 傍線部E「折り紙をつけた」とはどういう意味か、説明せよ。

問六 病気が大きなテーマとなっている日本の文学作品を一つ挙げて、その病気がどういう意味で重要なのか、説明せよ。